

市政に関する

一般質問

要旨

第2回定例会では、17名の議員が質問を行いました。質問は、インターネット上で録画をご覧ください。



YouTube 多摩市議会 で検索してください。



Youtube
多摩市議会チャンネル



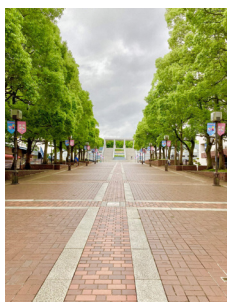
「初夏の花」
撮影者：北芳さん
撮影場所：多摩中央公園



渡辺しんじ (公明党)

多摩市のインバウンド戦略と観光力について

- 問** 国はアフターコロナを見据え、インバウンド(訪日外国人観光客)需要回復に向けた取組みを始めた。多摩市のインバウンド需要に対する見解を伺う。
- 答** 市内には国内外へ訴求力があるテーマパークが立地している。恵まれた環境を活かし、インバウンドの誘致は積極的に行っていく。
- 問** インバウンドの困りごとに言葉の壁がある。市内中学生の英語力アップに繋がる通訳ボランティアを募ってはいかがか。
- 答** 実践の場は重要と考える。感染症収束のタイミングを捉えて、前向きに検討する。
- 問** 滞在型のインバウンドと国内観光客を誘致するため、付加価値をつける必要がある。中央公園にフィールドアスレチック、パルテノン多摩大階段の上からジップライン、世界的に評価が高い日本酒ブースなど、大胆な発想で観光力を高め、市内経済の活性化に繋げてもらいたいかがか。
- 答** 国の動向を注視して、市内外の人で賑わうまちづくりをめざしていく。



本間としえ (公明党)

市民に寄り添う「おくやみコーナー」の設置について

- 問** 多摩市は高齢化が進み、亡くなる方が増加している。市役所での手続きをスムーズに、ご家族に寄り添った案内をするために、おくやみコーナーの設置を求めるがいかがか。
- 答** 家族が亡くなった時の手続きの負担軽減は大きな課題であり、おくやみコーナー設置に向けて検討する。
- 問** 市役所の狭隘化に対する改善対策の中で、市民課におくやみコーナーを作ることができないか伺う。
- 答** スペース的な課題、人的な問題の検討も必要だが、できることから工夫していく。
- 問** ご家族が亡くなった際の手続きの問い合わせがあった時に、現在どのように行っているか伺う。
- 答** 所管に電話を転送して説明するリレー方式で案内している。
- 問** 市民が亡くなった時の市役所内の手続きと市役所以外に必要な手続きについて、必要書類・連絡先等も掲載したおくやみハンドブックの作成を要望するがいかがか。
- 答** 行政・民間を含む多くの手続きが網羅されるハンドブックは有用であり、作成に向けて検討する。



安斉きみ子 (日本共産党)

1. 在宅者にさせない…障がい児・者の卒後対策
2. 投票行動を促す市選管の役割

- 問** 通所の生活介護利用者の5割、就労継続支援B型利用者の3割が多摩市以外の事業所を利用。これで多摩市内の事業所の受け入れは充分と言えるのか伺う。
- 答** 自宅からの利便性から通所先を他市に求める場合もあると考える。
- 問** 重症心身障がい児の卒後の受け入れが限界と聞く。市の対策を伺う。
- 答** 特別支援学校関係者等と市障害所管が連携しながら対応を図る。
- 問** 学校跡地活用で通所施設等を建てるのはいかがか。
- 答** 関係機関と協議する。
- 問** 多摩市選挙管理委員会(選管)の「主権者教育」の現状と課題を伺う。
- 答** 令和3年度は、小学校13校、高校1校で開催。課題は継続的に実施できる仕組みづくりが必要である。
- 問** 団地住民から「身近な団地集会所に投票所の設置を」という陳情が選管に提出された。選管の回答を伺う。
- 答** 選管の定例会において、現段階では現状維持が望ましいと、まとまった。

